

# 輸出入・港湾関連情報処理システム E D I 仕様書

2023 年 4 月 1 日

輸出入・港湾関連情報処理センター

# 目 次

1. データ送受信処理方式と接続形態	
1.1 データ送受信処理方式	1-1-1
1.1.1 インタラクティブ処理方式	1-1-2
1.1.1.1 インタラクティブ処理方式(パソコン用パッケージソフトを使用)	1-1-2
1.1.1.2 インタラクティブ処理方式 SMTP双方向 (ゲートウェイコンピュータを使用)	1-1-2
1.1.1.3 WebNACCS処理方式(Webブラウザを使用)	1-1-3
1.1.1.4 インタラクティブ処理方式 ebMS (ゲートウェイコンピュータを使用)	1-1-3
1.1.2 メール処理方式	1-1-3
1.1.2.1 メール処理方式(ゲートウェイコンピュータを使用)	1-1-3
1.2 利用者との接続形態	1-2-1
1.2.1 NACCSネットワーク	1-2-1
1.2.1.1 Peer to Peer接続	1-2-1
1.2.1.2 ルータ接続	1-2-1
1.2.1.3 ゲートウェイ接続	1-2-1
1.2.2 インターネット	1-2-2
1.2.2.1 netNACCS	1-2-2
1.2.2.2 WebNACCS	1-2-2
1.2.2.3 ゲートウェイ接続(ebMS処理方式)	1-2-3
1.3 接続形態とデータ送受信処理方式との関係	1-3-1
1.4 NACCSにおける情報の利用例と電文の追い越し例	1-4-1
2. ネットワーク構成	
2.1 ネットワークの概要	2-1-1
2.2 プライベートIPアドレス	2-2-1
2.2.1 プライベートIPアドレスの採用	2-2-1
2.2.2 プライベートIPアドレスの体系	2-2-2
2.2.3 IPアドレスとサブネットマスクとの関係について	2-2-3
2.2.4 NACCSセンターによるIPアドレスの付与	2-2-4
2.2.5 IPアドレスの付与単位	2-2-4
2.2.6 IPアドレスの付与ルール	2-2-5
2.2.7 利用者LANの構築パターン例(代表的な例)	2-2-6
2.2.8 IPアドレス変換について	2-2-13
2.2.9 故障時における責任分界点	2-2-15
2.2.10 NACCS掲示板とIPアドレス	2-2-16
2.3 NACCS接続ルータの概要	2-3-1
2.3.1 【削除】	
2.3.2 【削除】	
2.3.3 NACCS 接続ルータ(専用線及びブロードバンド光接続用) の外観と諸元	2-3-5

2.4	利用者コンピュータからNACCSへのアクセスについて	2-4-1
2.4.1	NACCSの各サーバへのアクセス方法	2-4-1
2.4.2	メインセンター～バックアップセンター間の切替について	2-4-1
2.5	利用者アクセス回線における冗長化構成について	2-5-1
2.5.1	冗長化構成の概要	2-5-1
2.5.2	冗長化構成における回線構成	2-5-1
2.5.3	冗長化構成における責任範囲	2-5-1
2.5.4	冗長化構成における留意点	2-5-2
3. 電文方式と構造		
3.1	NACCS EDI電文	3-1-1
3.1.1	NACCS EDI電文方式	3-1-1
3.1.2	NACCS EDI電文の電文構造	3-1-1
3.1.2.1	入力共通項目(処理要求電文)	3-1-3
3.1.2.2	電文方式規則	3-1-4
3.1.2.2.1	処理要求電文の電文方式規則	3-1-4
3.1.2.2.2	処理結果電文の電文方式規則	3-1-5
3.1.2.3	業務個別項目の入力方法	3-1-15
3.1.2.4	出力共通項目(処理結果電文)	3-1-16
3.2	MIME形式電文	3-2-1
3.2.1	EDIFACT電文	3-2-1
3.2.1.1	EDIFACT電文の電文方式	3-2-1
3.2.1.1.1	採用メッセージ	3-2-1
3.2.1.1.2	シンタックスルール	3-2-2
3.2.1.1.3	メッセージバージョン	3-2-2
3.2.1.1.4	メッセージの構造について	3-2-3
3.2.1.1.5	使用可能文字セット	3-2-4
3.2.1.2	EDIFACT電文の電文構造	3-2-6
3.2.1.2.1	入力(出力)共通項目	3-2-7
3.2.1.2.2	電文の送信単位	3-2-9
3.2.1.2.3	電文フォーマット	3-2-10
3.2.1.2.4	電文の処理方式	3-2-15
3.2.1.3	EDIFACT電文における受信確認	3-2-18
3.2.1.3.1	受信確認の時点	3-2-18
3.2.1.3.2	受信確認の手段	3-2-18
3.2.1.3.3	受信確認の通知	3-2-18
3.2.2	添付ファイル電文	3-2-19
3.2.2.1	添付ファイル電文の電文方式	3-2-19
3.2.2.2	添付ファイルの電文構造	3-2-19
3.2.2.3	実現方式について	3-2-20
3.2.2.4	処理シーケンスについて	3-2-21
3.2.2.4.1	インタラクティブ処理方式	3-2-21
3.2.2.4.2	WebNACCS処理方式	3-2-23
3.2.2.4.3	メール処理方式	3-2-24

3.3 XML形式電文	3-3-1
3.3.1 XML形式電文の電文方式	3-3-1
3.3.1.1 XML形式電文のフォーマット／バージョン	3-3-1
3.3.2 XML形式電文の電文構造	3-3-1
3.3.3 XML形式電文の送受信電文の種類	3-3-2
3.3.4 XML形式電文の電文仕様	3-3-3
3.4 電文の種類	3-4-1
3.5 各種電文制御項目	3-5-1
3.5.1 入力情報特定番号	3-5-3
3.5.2 電文引継情報、電文制御情報（分割通番、最終表示、電文種別）	3-5-4
3.5.3 継続処理(索引引継情報)	3-5-6
3.6 コード体系	3-6-1
3.6.1 文字コード体系	3-6-1
3.6.1.1 上り電文(処理要求電文)で使用する文字コード	3-6-2
3.6.1.2 下り電文(処理結果電文等)で使用する文字コード	3-6-5
3.6.2 文字化けについて	3-6-8
3.7 帳票電文テーブル及び取出し業務について	3-7-1
3.7.1 帳票電文テーブルについて	3-7-1
3.7.2 取出し業務について	3-7-1
3.7.2.1 SYG業務とは	3-7-3
3.7.2.2 REQ業務とは	3-7-8
4. 各処理方式の詳細	
4.1 インタラクティブ処理方式(パソコン用パッケージソフトを使用)	4-1-1
4.1.1 処理方式概要	4-1-1
4.1.2 通信プロトコルの詳細	4-1-2
4.1.3 業務処理シーケンス	4-1-3
4.1.3.1 INQ型電文の場合の業務処理シーケンス例	4-1-4
4.1.3.2 EXC型電文の場合の業務処理シーケンス例	4-1-9
4.1.3.3 EXZ型電文の場合の業務処理シーケンス例	4-1-11
4.1.3.4 添付ファイル電文の場合の業務処理シーケンス例	4-1-12
4.1.4 その他	4-1-13
4.2 インタラクティブ処理方式(SMTP双方向)	4-2-1
4.2.1 処理方式概要	4-2-1
4.2.2 利用者で守るべきインターフェース	4-2-2
4.2.3 通信プロトコルの詳細	4-2-4
4.2.4 電文構造	4-2-14
4.2.5 業務処理シーケンス	4-2-28
4.2.6 その他	4-2-30
4.3 メール処理方式	4-3-1
4.3.1 NACCS EDI電文によるメール処理方式	4-3-1
4.3.1.1 処理方式概要(EDIFACT以外)	4-3-1
4.3.1.2 通信プロトコルの詳細	4-3-2
4.3.1.3 電文構造	4-3-16

4.3.2	EDIFACT電文によるメール処理方式	4-3-27
4.3.2.1	処理方式概要(EDIFACT)	4-3-27
4.3.2.2	通信プロトコルの詳細	4-3-28
4.3.2.3	電文構造	4-3-42
4.3.3	メールボックス	4-3-49
4.3.4	メールアドレス	4-3-53
4.3.5	業務処理シーケンス	4-3-57
4.3.6	その他	4-3-59
4.4	WebNACCS処理方式(Webブラウザを使用)	4-4-1
4.4.1	処理方式概要	4-4-1
4.4.2	通信プロトコルの詳細	4-4-2
4.4.3	業務処理シーケンス	4-4-3
4.5	ebMS処理方式	4-5-1
4.5.1	処理方式概要	4-5-1
4.5.2	通信プロトコルの詳細	4-5-2
4.5.3	ebMS処理方式で使用するメッセージ	4-5-4
4.5.4	ebMS処理方式における設定情報	4-5-6
4.5.5	電文方式と構造	4-5-9
4.5.6	業務処理シーケンス	4-5-11
4.6	その他	4-6-1
4.6.1	e-mail	4-6-1
4.6.1.1	e-mailアドレスに対する主なチェックについて	4-6-1
4.6.1.2	e-mail送信について	4-6-1
4.6.1.3	e-mailで送信される情報について	4-6-2
4.6.2	添付ファイルについて	4-6-3
4.6.2.1	拡張子	4-6-3
4.6.2.2	ファイル名と形式	4-6-3
4.6.2.2.1	MSX、MSY01業務を実施する場合	4-6-3
4.6.2.2.2	MSX、MSY01業務以外を実施する場合	4-6-4
4.6.2.3	ファイル名の文字コード	4-6-4
4.6.2.3.1	MSX、MSY01業務を実施する場合	4-6-4
4.6.2.3.2	MSX、MSY01業務以外を実施する場合	4-6-4
4.6.2.4	ファイル名の文字化けについて	4-6-4
4.6.2.5	ファイル名の長さについて	4-6-4
5.	宛先管理	
5.1	宛先管理の概要	5-1-1
5.2	処理結果電文の宛先の設定	5-2-1
5.2.1	処理結果電文の出力パターンについて	5-2-1
5.2.2	出力宛先の設定について	5-2-3
5.2.3	二重出力機能について	5-2-5
5.2.4	出力先プリンターの設定	5-2-6

6. 管理資料情報取出について	
6.1 管理資料情報取出について	
6.1.1 配信方法	6-1-1
6.1.2 取得可能な利用者	6-1-1
6.1.3 取り出し方法	6-1-1
6.1.4 保存期間	6-1-2
6.1.5 ファイル形式及び使用する表計算ソフト	6-1-2
6.1.6 管理資料の分割	6-1-3
6.1.7 再配信方法	6-1-3
6.1.8 保税管理資料再出力依頼	6-1-4
6.1.8.1 再出力可能利用者	6-1-4
6.1.8.2 保存期間	6-1-4
6.1.8.3 再出力された管理資料の取り出し方法	6-1-4
6.2 管理資料情報取出手順(自社システムを用いた場合)	6-2-1
6.2.1 通信仕様	6-2-1
6.2.1.1 HTTP送受信仕様	6-2-1
6.2.1.2 管理資料情報取出のシーケンス	6-2-2
6.2.2 電文仕様	6-2-5
6.2.2.1 電文構造	6-2-5
6.2.2.2 各電文の設定内容	6-2-11
6.2.2.3 管理資料情報ファイル名体系	6-2-21
6.2.3 異常時の対処	6-2-23
6.2.4 その他	6-2-24
6.2.5 各種タイマー値	6-2-25
7. セキュリティ対策	
7.1 NACCSセンターハード	7-1-1
7.2 ネットワーク	7-2-1
7.3 資格チェック	7-3-1
7.3.1 ログオンチェック	7-3-1
7.3.2 メールボックスへのアクセス資格チェック	7-3-1
7.3.3 処理結果電文(帳票用)の取得資格チェック	7-3-1
7.3.4 業務資格チェック	7-3-1
7.3.5 複数業種を兼業する利用者のシングルサインオン	7-3-2
7.4 利用者のセキュリティ対策	7-4-1
7.4.1 利用者が行うセキュリティ対策	7-4-1
7.4.2 社外ネットワークとの接続に関するセキュリティ基準	7-4-5
7.5 netNACCS処理方式、WebNACCS処理方式及びebMS処理方式	7-5-1
7.5.1 NACCSセンター側のセキュリティ対策	7-5-1
7.5.2 通信のセキュリティ対策等	7-5-1
7.5.3 netNACCS処理方式接続例	7-5-3
7.5.4 WebNACCS処理方式接続例	7-5-5
7.5.5 netNACCS処理方式、WebNACCS処理方式 及びebMS処理方式利用時の注意事項	7-5-7

7.5.6 利用者側のセキュリティ対策	7-5-9
7.6 システム監査	7-6-1
8. 接続試験	
8.1 接続試験の概要と内容	8-1-1
8.2 NACCSへ新規に参加する場合の接続試験の準備等	8-2-1
9. 利用者による設定情報のオンライン変更	
9.1 利用者による設定情報のオンライン変更の概要	9-1-1
9.2 設定情報の初期設定～業務処理開始までの流れ	9-2-1
9.3 利用者による設定情報のオンライン変更の対象業務及び対象項目	9-3-1

付録

【NACCS EDI電文・EDIFACT電文共通】

付録1.	接続形態と処理方式に関連する事項（まとめ）	付録 1-1
付録2.	データ送受信処理方式及び接続形態が混在した場合の接続の具体例	付録 2-1
付録3.	システム構築の具体例	付録 3-1
付録4.	アクセス回線とアクセスポイントについて	付録 4-1
	(1)専用線接続	付録 4-1
	(2)【削除】	
	(3)ブロードバンド光接続	付録 4-1
付録5.	処理結果電文等の詳細について	付録 5-1
	(1)NACCS EDI電文	付録 5-1
	①処理結果通知電文及び出力情報電文（照会結果）のフォーマット	付録 5-1
	②出力情報電文（照会結果を除く）のフォーマット	付録 5-2
	③エラー発生時における処理結果通知電文の出力形態について	付録 5-3
	(2)EDIFACT電文	付録 5-7
	(3)XML電文	付録 5-7
	(4)継続処理となる業務について	付録 5-7
付録6.	各種コード	付録 6-1
	1. 出力情報コード体系	付録 6-1
	2. 処理結果コード体系	付録 6-3
	3. 利用者コード及び識別番号等について	付録 6-11
	付表6-7-1 対象業務一覧【凡例】	
	付表6-7-2 対象業務一覧【入出港・とん税関連業務】	
	付表6-7-3 対象業務一覧【輸入関連業務】	
	付表6-7-4 対象業務一覧【輸出関連業務】	
	付表6-7-5 対象業務一覧【輸出入共通関連業務】	
	付表6-7-6 対象業務一覧【輸入食品監視支援業務】	
	付表6-7-7 対象業務一覧【植物検疫関連業務】	
	付表6-7-8 対象業務一覧【動物検疫関連業務】	
	付表6-7-9 対象業務一覧【外為法関連業務】	
	付表6-8-1 出力情報コード一覧【凡例】	
	付表6-8-2 出力情報コード一覧【入出港・とん税関連業務】	
	付表6-8-3 出力情報コード一覧【輸入関連業務】	
	付表6-8-4 出力情報コード一覧【輸出関連業務】	
	付表6-8-5 出力情報コード一覧【輸出入共通業務】	
	付表6-8-6 出力情報コード一覧【輸入食品監視支援業務】	
	付表6-8-7 出力情報コード一覧【植物検疫関連業務】	
	付表6-8-8 出力情報コード一覧【動物検疫関連業務】	
	付表6-8-9 出力情報コード一覧【外為法関連業務】	
	付表6-9-1 民間管理資料情報一覧【凡例】	
	付表6-9-2 民間管理資料情報一覧	
付録7.	多数件処理業務について	付録 7-1
	(1)分割処理<パターン1>	付録 7-1
	(2)自動起動処理<パターン2>	付録 7-2



付録8. IPアドレス、利用者コード、メールボックスID、パスワードの 関係について	付録 8-1
付録9. 処理結果電文（INQ型電文/EXZ型電文/EXC型電文）の宛先管理の具体例	付録 9-1
付録10. 受信用メールボックスの利用方法についての具体例	付録 10-1
付録11. 同報電文の送付について	付録 11-1
1. 同報機能	付録 11-1
2. 同報電文が取得可能な利用者	付録 11-1
3. 処理イメージ	付録 11-2
付録12. 輸出入許可通知情報等の二重出力機能について	付録 12-1
1. 二重出力機能の概要	付録 12-1
2. 二重出力の情報区分	付録 12-1
3. 二重出力パターン	付録 12-1
付録13. 利用者による設定情報のオンライン変更対象項目一覧	付録 13-1
付録14. EDIFACT電文関連	付録 14-1-1
1. EDIFACTの概要について	付録 14-1-1
2. EDIFACTマッピングルール	付録 14-2-1
2.1 セグメント表・マッピング表の見方	付録 14-2-1
2.2 メッセージ構造について	付録 14-2-7
2.3 サービスセグメントについて	付録 14-2-34
2.4 EDIFACT電文のエラー対応について	付録 14-2-47
2.4.1 CONTRLメッセージについて	付録 14-2-47
2.4.2 APERAKメッセージについて	付録 14-2-48
2.4.3 CUSRESメッセージについて	付録 14-2-48
2.4.4 マッピング表について	付録 14-2-49
2.4.5 コードリストについて	付録 14-2-49
3. EDIFACT電文の入力（出力）共通項目について	付録 14-3-1
3.1 入力共通項目（処理要求電文）	付録 14-3-1
3.2 出力共通項目（処理結果電文）	付録 14-3-2
4. EDIFACT対応業務サブセット名について	付録 14-4-1
5. EDIFACT電文（海上貨物・入出港関連）の運用方法について	付録 14-5-1
5.1 積荷目録情報の訂正について	付録 14-5-1
5.2 船舶運航情報（VTX01）の登録・訂正について	付録 14-5-3
5.3 ACL情報登録（ACL）の登録・訂正について	付録 14-5-3
5.4 入港前統一申請（VPX）、入港届等（VIX）、出港届等（VOX） の電文構成について	付録 14-5-4
付録15. XML電文関連	付録 15-1-1
1. マッピング表の見方	付録 15-1-1
2. 処理結果通知（共通エラー）マッピング表	付録 15-2-1
付録16. NACCSにおけるEDI仕様の主な変更点（参考資料）	付録 16-1
付録17. パッケージソフト（インタラクティブ処理方式）の対応について （NACCS DNSを利用していない利用者向け）	付録 17-1
付録18. NACCS障害時および復旧時における対応について （NACCS DNSを利用していない利用者向け）	付録 18-1

※本書では下記名称について略称にて表記する。

NACCSセンター：輸出入・港湾関連情報処理センター

商標：Microsoft、Windows、その他のマイクロソフト製品の名称及び製品名は、米国Microsoft Corporation の米国及びその他の国における商標または登録商標である。Pentiumは、Intel Corporation の登録商標である。その他の製品及び会社名は、各社の登録商標または商標である。